

2021年10月入学・2022年4月入学

広島大学大学院人間社会科学研究科（博士課程前期）

学生募集要項

人文社会科学専攻

国際平和共生プログラム

国際経済開発プログラム

教育科学専攻

国際教育開発プログラム

◆推薦入学[国際協力経験者]

2021年5月



広島大学

人間社会科学研究科アドミッション・ポリシー

人間社会科学研究科では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ②幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人文社会科学専攻アドミッション・ポリシー

人文社会科学専攻では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養とともに、人文科学や社会科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ②幅広い教養とともに、人文科学や社会科学、及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

教育科学専攻アドミッション・ポリシー

教育科学専攻では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養とともに、教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ②幅広い教養とともに、教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

国際平和共生プログラムアドミッション・ポリシー

国際平和共生プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養と共に、平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究のいずれかに関連する学問領域、あるいはそれらの融合領域における専門的知識と研究能力を身に付け、多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために、国際人としての共感を持って、多国籍の人々とコミュニケーションを取ることができ、連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人
- ②それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し、企業、国際機関、国際協力機関、国際協力NGO、地元自治体などでの経験を踏まえ、大学院での学修や研究活動を通して、研究者や高度な専門的職業人としての資質、能力の獲得を目指す人

国際経済開発プログラムアドミッション・ポリシー

国際経済開発プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い関心を持って、開発途上国が直面するグローバルな諸問題に挑みたい人
- ②健全な経済開発に資する社会科学研究を志向する人
- ③国際人としての共感を持って、多様な人々と協働できる人

国際教育開発プログラムアドミッション・ポリシー

国際教育開発プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ①幅広い教養と共に、教育学に関連する学問領域、あるいはその融合領域における専門的知識と研究能力を身に付け、多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために、国際人としての共感を持って、多国籍の人々とコミュニケーションを取れ、連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人
- ②それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し、企業、国際機関、国際協力機関、国際協力NGO、地元自治体などでの経験を踏まえ、大学院での学修や研究活動を通して、研究者や高度な専門的職業人としての資質、能力の獲得を目指す人

※広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙です。

(霞キャンパスでは、2018年4月から全面禁煙となっています)。

※広島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

広島大学では、被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会の確保を図るため、令和3(2021)年度に実施する本学の入学者選抜において、入学検定料の免除措置を実施することとしましたので、お知らせします。

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に必ず以下の「8 問い合わせ先」までご連絡ください。

1 免除措置の対象となる入学者選抜

令和3(2021)年度に実施する本学の学部、大学院及び専攻科入試
(再入学、転学及び編入学に係る選考を含みます。)

2 措置内容

入学検定料の免除

※ 入学試験成績の開示に係る手数料も、免除の対象となります。

3 免除の対象となる災害

(1) 平成30年7月豪雨による災害

(2) 令和元年8月28日以降に災害救助法の適用を受けた災害

※ 入学検定料の免除の対象となる入学者選抜は、当該災害救助法適用日から5年を経過する日までの間に出願期間の最終日が設定されているものに限ります。

4 免除の対象者

「3 免除の対象となる災害」において災害救助法が適用されている地域(注)で被災した志願者で、次のいずれかに該当する方

(1) 主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊、大規模半壊又は半壊した場合

(2) 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

(注) 災害救助法適用地域等は、次の内閣府ホームページでご確認いただけます。

http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html

5 申請方法

事前に「8 問い合わせ先」に連絡した後、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。
なお、この場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

6 申請書類

(1) 検定料免除申請書(本学ホームページからダウンロード)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/news/1058>

(2) り災証明書(写し可) (上記4の(1)に該当する方)

(3) 死亡又は行方不明を証明する書類(写し可) (上記4の(2)に該当する方)



7 インターネット出願における入学検定料免除特例措置の手続方法

本学ホームページ掲載のPDFファイルを参照してください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/164492/menjo_r4.pdf



8 問い合わせ先

人間社会科学研究科(国際協力学系支援室)

〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号

TEL: (082)424-4680

I. プログラム及び募集人員

本学生募集要項は、国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム、国際教育開発プログラムに関する試験日程、選抜方法等の詳細を掲載したものであり、本学生募集要項の選抜における募集人員は、下表の「募集人員」欄のとおりです。

※新型コロナウイルス感染症の影響により試験期日や選抜方法が変更される可能性があります。変更内容については本学ホームページ等で公表します。

2021年10月入学及び2022年4月入学

専攻	プログラム	募集人員	問合せ・出願書類提出先
人文社会科学	国際平和共生	若干名	〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号 国際協力学系支援室 TEL：(082)424-4680 E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp
	国際経済開発	若干名	

専攻	プログラム	募集人員	問合せ・出願書類提出先
教育科学	国際教育開発	若干名	〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号 国際協力学系支援室 TEL：(082)424-4680 E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、入学時まで、JICA 海外協力隊、NGO・NPO 等における1年以上の国際交流・国際貢献活動の経験を有し、かつ、国際協力機関・団体が推薦する者。

- 日本の大学を卒業した者
- 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること）で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者
- 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、その後に入学者を本学大学院において、大学院の教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 前各号のいずれかの資格を2021年9月30日又は2022年3月31日までに取得見込みの者

出願資格事前審査について

※出願資格9又は10により出願しようとする者は、次のとおり事前審査を行います。事前審査の対象者は、人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）へ申請書等の用紙を請求してください。

(1) 事前審査書類提出期間

2021年7月5日（月）から2021年7月9日（金）午後5時まで（必着）

(2) 事前審査提出書類（各証明書は原本を提出すること）

出願資格の種類	必要提出書類
(出願資格9)	① 事前審査申請書（所定様式を使用） ② 履歴書（所定様式を使用） ③ 学部及び大学院の成績証明書
(出願資格10) (注)	① 事前審査申請書（所定様式を使用） ② 履歴書（所定様式を使用） ③ 大学を卒業した者と同等の学力を有することを示す本人による説明書（A4・2枚程度）（所定様式を使用） ④ 最終学歴の卒業証明書及び研究経歴の証明書

(注) 出願資格10について、中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学を卒業（修了）した、あるいは、卒業（修了）見込みの者は、5頁の（注）を参照すること。

(3) 事前審査書類提出先

〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号
広島大学大学院人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）

郵送の場合は書留とし、封筒表面に「出願資格事前審査申請書在中」と朱書してください。

(4) 事前審査結果の通知

事前審査結果については、2021年7月13日（火）に通知します。

Ⅲ. 出願手続

1. 出願方法

インターネット出願及び出願書類の提出により出願できます。

- ① インターネットにより、**志望情報等を入力**する。
- ② **入学検定料30,000円を支払う**。（入学検定料免除の特例により出願する者を除く）
- ③ **出願書類を持参又は郵送**する。

(注意) インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。別途、出願書類等が所定の期日までに到着するように持参又は郵送する必要があります。

2. 出願期間

上記1.出願方法の①、②、③の全てを期間内に終える必要があります。

2021年7月16日（金）から2021年7月26日（月）17:00まで（必着）

なお、③で郵送する場合は、書留郵便で7月26日（月）午後5時必着とし、これ以降に到着した場合は7月23日（金）までの消印があるものに限り受理します。

3. インターネット出願

◆システムに関する問合せ先

インターネット出願ヘルプデスク（日本語対応のみ） 受付時間：10:00から18:00まで（4月～7月末日までの土・日・祝日を除く） 電話番号：03-5952-3902（海外及びIP電話からの受電も可能となります）
UCARO事務局（日本語対応のみ） 受付時間：10:00から18:00まで（12月30日～1月3日を除く） 電話番号：0570-06-5524 日本国外・IP電話の方：03-5952-2114

○入試に関する不明点等は、「I. プログラム及び募集人員」（1ページ）の問合せ・出願書類提出先に問い合わせてください。

受付時間 8:30から17:00まで（土日祝日を除く）

※電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、以下の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。
（広島市、安芸郡府中町、海田町、熊野町及び坂町の各地域）

出願期間内に、次の8つのステップを完了してください。

Step 1: インターネット出願システムにアクセスする

アクセスページ

広島大学入試情報

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi>



Step 2: UCAROログイン画面から「UCARO会員登録」を選択

出願には「UCARO」への会員登録（無料）が必須です。

本学では、受験番号の確認及び合格した場合の入学手続の一部をUCAROで行います。UCAROについては、以下のURLを参照してください。

<https://www.ucaro.net/>

Step 3:（必要な入試区分のみ該当）アカウントを入力

入学検定料免除の特例による出願の場合のみ、入力前に「I. プログラム及び募集人員」（1ページ）の「問合せ・出願書類提出先」に問い合わせた後に、本研究科から通知する8桁以上の英数字を入力してください。

Step 4: インターネット出願システムに志望情報等を入力

画面上の指示に従って、氏名、住所等を入力してください。

Step 5: 写真をアップロード

デジタル写真（ファイル形式等：JPEG）を画面の案内に従ってアップロードしてください。郵送での提出はできません。

Step 6: 入学検定料（30,000円）の支払い

「決算情報を入力」の画面で、次の中から支払方法を選択してください。

1. クレジットカード：Credit Cards: VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club
2. コンビニエンスストア：セブンイレブン, ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, デイリーヤマザキ, セイコーマート
3. 金融機関 ATM 【Pay-easy】
4. ネットバンキング

(注意)

- ・入学検定料の他に、1回の出願ごとに必要なインターネット出願システム手数料 650 円は、志願者負担となります。
- ・出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。
なお、次の(1)、(2)の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還します。本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、「出願番号」、「ふりがな」、「氏名」、「電話番号」、「住所」、「振込先」及び「返還請求の理由」等を記入・押印の上、2022年2月25日(金)までに「I. プログラム及び募集人員」(1ページ)の「問合せ・出願書類提出先」に郵送してください。
ただし、いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。
(1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合
(2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

Step 7: 出願情報の登録完了

出願番号 (6桁) が表示されるので、メモしておいてください。

Step 8: 出願書類の持参又は郵送

提出又は送付先は、「I. プログラム及び募集人員」(1ページ)の「問合せ・出願書類提出先」をご覧ください。

出願書類を持参する場合は、出願期間の8:30から17:00まで受け付けます。ただし、土曜日、日曜日及び祭日は受け付けません。

郵送の場合は、書留とし、7月26日(月)必着としますが、これ以降に到着した場合は、7月23日(金)までの消印があるものに限り受理します。

また、封筒表面に「人間社会科学研究科〇〇プログラム願書在中」と朱書きしてください。

4. 出願書類 (各証明書は原本を提出すること)

インターネット出願をした後、次の書類を一括して、出願期間内に1ページの「出願書類提出先」へ提出してください。

書類等の名称	提出該当者	摘要
志望理由書	全員	A4・1枚程度(所定様式を使用)
研究計画書	全員	A4・2枚程度(所定様式を使用)
学業成績証明書	全員 (出願資格9及び出願資格10による志願者は除く)	出身大学(学部)長が作成し、厳封したもの。 ※大学院在学中の者あるいは修了者は、大学学部・大学院双方について提出すること。 ※成績証明書に成績評価基準の説明がない場合は、別途評価基準を説明した出身大学発行の書類を提出すること。
卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	全員 (出願資格10による志願者は除く)	出身大学(学部)長が作成したもの。 ※大学院在学中の者あるいは修了者は、大学学部・大学院双方について提出すること。 ※外国の大学を卒業した者は、証明書に学位情報が記載されていることを確認すること。 ※中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学を卒業(修了)した、あるいは、卒業(修了)見込みの者は、5頁の(注)を参照すること。
受験承諾書	大学院在学者	現に他の大学院に在学している者は、本学大学院受験についての在学大学(研究科)長の承諾書を提出すること。
	民間企業、国際機関・政府機関・自治体・教育機関等に在職する者	現に民間企業、国際機関・政府機関・自治体・教育機関等に在職している者で、現職のまま本学大学院に入学しようとする者は、本学大学院受験についての所属長の承諾書を提出すること。

書類等の名称	提出該当者	摘要
推薦書	全員	JICA 海外協力隊、各種 NGO・NPO 等国際協力機関・団体が作成し、厳封したもの (所定様式を使用)
受験票返送用封筒	全員	定形封筒(長形3号 12 cm×23.5 cm)に郵便番号、住所、氏名を明記し、94円切手を貼ったもの。(直接持参する場合も提出すること。)
在留カードの写し	外国籍の志願者	日本在住の外国籍の志願者のみ(両面コピー)。

※所定様式は HP からダウンロード可能です。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs/m-kokusainyuushi%20>

※新型コロナウイルスの影響により、出願書類の提出が困難な場合、支援室までご相談ください。

(注) 中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学を卒業(修了)した、あるいは卒業(修了)見込みの者は、以下全ての書類を提出すること。

- ・既卒者： a. 毕业证书 及び 学士(碩士)学位证书
b. 學歷證書電子登録票(教育部學歷證書電子注册备案表)
- ・卒業(修了)見込者： a. 卒業(修了)見込証明書
b. オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

上記のうち、書類 b は中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询

<http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)より取得すること。なお、発行手数料は志願者が負担すること。また、提出時点で Web 認証の有効期限が 15 日以上残っていることを確認すること。

5. その他

- ① 受付後の記載内容の変更は、認めません。
- ② 出願書類は返還しません。
- ③ 出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等)は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係(奨学金申請、授業料免除申請等)業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。なお、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。
- ④ **志願者は、志望するプログラムの教員に事前に相談をすることが望ましい。**
- ⑤ 受験票は、出願手続き完了後に郵送します。2021年8月11日(水)までに到着しない場合は、人間社会科学研究科(国際協力学系支援室)に連絡し、受験に必要な指示を受けてください。

IV. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者は、次の事項を記載した申請書(様式は定めません。)を人間社会科学研究科(国際協力学系支援室)に提出し、相談してください。

(1) 相談の時期： 2021年7月5日(月)から2021年7月9日(金)まで

(2) 申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- ② 出身大学名
- ③ 障害等の種類・程度(現に治療中の者は、医師の診断書を添付してください。)
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身大学でとられていた特別措置
- ⑦ 日常生活の状況

V. 入学者選抜方法

口述試験による学力検査の結果，及び学業成績証明書等を総合して選考します。

1. 学力検査実施日時等

試 験 日 時	試 験 内 容
8月24日（火） 9：30～	国際協力に関する口頭試問及び出願時に提出された研究計画書に基づいた口述試験を行います。

2. 合格者の発表

2021年9月2日（木）午前10時（予定）

試験場に掲示するとともに合格者に通知します。なお，インターネットでも発表します。電話/E-mail 等による照会には，原則として応じません。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs>

VI. 入学手続

1. 入学手続期間

10月入学者は9月上旬の指定する期間に入学手続を行うこととなります。詳細については別途お知らせします。

4月入学者は10月上旬までに「入学届」を提出いただきます。その他の入学手続は3月上旬の指定する期間に行うこととなります。詳細については2月下旬にお知らせします。

2. 納入金

入学料 282,000円

授業料（年額） 535,800円

①金額は2021年4月現在のものです。入学時あるいは在学中に納入金の改定が行われた場合は，改定後の金額を納入することとなります。

②入学料は入学手続時，授業料は入学後に納入することとなります。納入金の額及び具体的な納入方法等の詳細並びに入学料・授業料の免除及び徴収猶予の申請方法については別途お知らせします。

③既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

3. 注意事項

(1) 合格後あるいは入学後，提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合，合格・入学を取り消します。

(2) 卒業（修了）見込で出願して合格した者が，入学日までに卒業（修了）できなかった場合，入学を取り消します。

VII. 長期履修制度について

職業を有している者，又は本学フェニックス入学制度により入学した者等を対象として，標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり，計画的に教育課程を履修して課程を修了することができる制度があります。

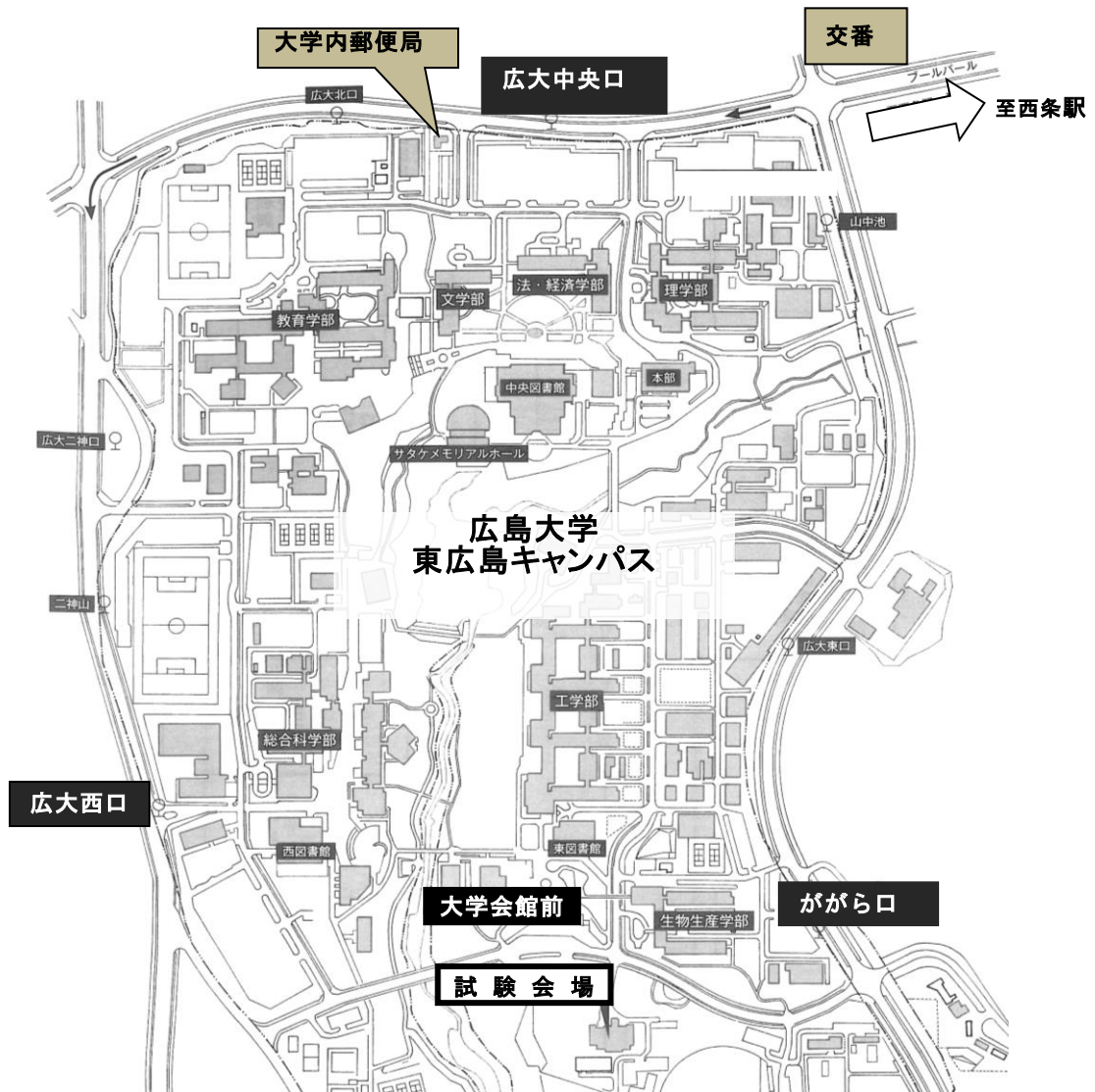
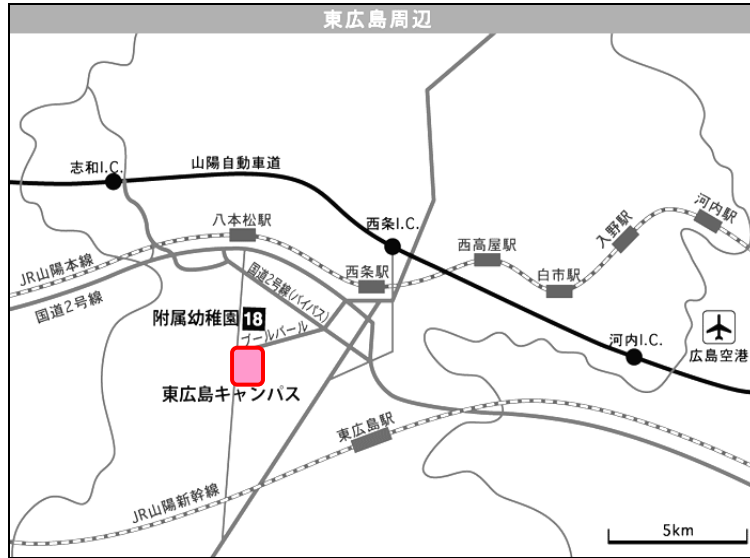
この制度による授業料は，標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。最長履修期間は，博士課程前期が4年間，博士課程後期が6年間です。

なお，この制度の詳細については，本研究科に照会してください。

VIII. 独立行政法人国際協力機構（JICA）海外協力隊事業との連携による特別教育プログラムについて

本研究科では，教育科学専攻国際教育開発プログラム入学者のうち，希望者に対して特別教育プログラムを用意しています。詳細については，P. 12-P. 13 を参照してください。

試験場位置図



【試験場への経路】

広島大学大学院人間社会科学研究科（東広島市鏡山一丁目5番1号）

- ・ JR 西条駅前からバス「広島大学」行
 - ・ 新幹線東広島駅前からバス「広島大学」行
- } 「大学会館前」下車
(所要時間約 20 分)

教員一覧

人文社会科学専攻

【国際平和共生プログラム】

職名	氏名	担当授業科目名	教育及び研究内容
教授	片柳 真理	Peacebuilding I, Peacebuilding II, Law and Human Rights	紛争解決論, 平和構築, 平和維持, 紛争予防, 国際人権法
教授	川野 徳幸	Hiroshima Peace Studies I, Hiroshima Peace Studies II	平和学, 特にグローバル核被害について
教授	関 恒樹	Basic Cultural Anthropology II, Contemporary Anthropology II	開発・社会政策・平和の文化人類学的研究, フィリピンを中心とした 東南アジア地域研究
教授	長坂 格	Contemporary Anthropology II	社会文化人類学, 移住研究, 東南アジア研究
教授	吉田 修	International Politics I, International Politics II	先進国が築き上げてきた既存の国際秩序と, 途上国の外交政策との間 の相互作用の分析
准教授	掛江 朋子	Conflict Resolution I, Conflict Resolution II	紛争解決論, 国際法に関する研究
准教授	シマンガン ダリア コリヤード	Peacebuilding Case Studies	国際関係論, 平和構築理論, 国連平和構築活動, 平和と持続可能性の 連携, 人新世
准教授	友次 晋介	International Security I, International Security II	核拡散, 大量破壊兵器 (WMD) の拡散, テロリズム, 非伝統的安全 保障に関する研究
准教授	ファン・デル・ ドゥース ルリ	Hiroshima Peace Heritage I, Hiroshima Peace Heritage II	言説と表象の分野横断型実証研究, 記憶学 (紛争と平和), 原爆ひ ばく体験継承, 応用リスク論
准教授	山根 達郎	Peace and Conflict Research I, Peace and Conflict Research II	平和と安全保障, 武力紛争, 平和構築, グローバル・ガバナンス
講師	中空 萌	Basic Cultural Anthropology I, Contemporary Anthropology I	環境と開発をめぐる人類学, 科学技術社会論, インドを中心とした南 アジア地域研究

【国際経済開発プログラム】

職名	氏名	担当授業科目名	教育及び研究内容
教授	市橋 勝	経済統計分析論	アジア経済の数量的比較分析, 国際地域経済分析, 産業構造の発展分 析, 日本経済論・経済政策論, 経済統計分析論
教授	柿中 真	開発マクロ経済学I 開発マクロ経済学II 国際金融論	貿易と国際金融に関する研究

職名	氏名	担当授業科目名	教育及び研究内容
教授	金子 慎治	環境政策論	途上国の持続可能な発展に関する研究 アジア地域の環境政策に関する研究
教授	マハラジャン, ケシャプ・ラル	農村開発論 国際協力論	農村経済論－農業経済, 農村の現実と変容に関する諸問題 南アジア研究－近現代における社会経済の構造と変容
教授	吉田 雄一郎	開発計量経済学I 開発計量経済学II	最適な社会資本とその実現に必要な公共政策についての分析 開発途上国のマクロ経済的比較分析
准教授	後藤 大策	開発ミクロ経済学I 開発ミクロ経済学II	開発と環境の政策研究のための応用ミクロ経済学 開発と環境経済学における実験室実験とフィールド実験
准教授	シャリフイ アユーブ	都市政策論	都市計画及び都市政策, 環境計画及び環境管理, 気候政策, 持続的な都市
准教授	高橋 新吾	開発計量経済学I 開発計量経済学II	労働経済学, 人事制度の経済学, 主観評価に関する実証研究, 配偶者控除制度が女性労働供給に与える影響の実証分析
准教授	高橋 与志	人的資源開発論	人的資源開発・管理論, 技術経営論, 中小企業経営論
准教授	ジョシ ニラズ プラカシュ	農業生産経済分析 国際協力論	気候変動, 農業技術, 農業経済, 農村開発に関する研究

教育科学専攻

【国際教育開発プログラム】

職名	氏名	担当授業科目名	教育及び研究内容
教授	川合 紀宗	インクルーシブ教育論	特別支援教育, インクルーシブ教育, ソーシャル・インクルージョンの理論, 制度および実践に関する研究
教授	齊藤 一彦	スポーツ教育開発論	体育・スポーツを通じた国際開発, 国際比較スポーツ教育
教授	佐藤 暢治	民族言語教育論	中国甘粛・青海省のモンゴル系諸言語における民族言語学的研究
教授	清水 欽也	科学教育開発基礎論	途上国における理科教育国際協力・科学教育に関する教育研究及びその他教科の授業開発・分析
教授	馬場 卓也	数学教育開発論	数学教育開発論の国際的展開に関する研究及びその他教科の授業開発・分析
教授	堀田 泰司	高等教育開発論	途上国における教育開発政策の比較研究, 国際的高等教育交流に関する研究

職名	氏名	担当授業科目名	教育及び研究内容
教授	吉田 和浩	国際教育協力論	国際教育協力に関する実践的・開発的研究
教授	渡辺 健次		実践的ICT利活用教育, 情報ネットワークの教育への応用
准教授	大場 淳	高等教育基礎論Ⅱ (制度・政策) Higher Education in Japan	高等教育の制度や政策に関する理論や実践並びに国際比較 日本の高等教育の概論
准教授	日下部 達哉	途上国の比較教育学	発展途上国の社会・経済構造と教育との関係を比較の視点からア プローチする研究
准教授	櫻井 里穂	基礎教育開発論	比較国際教育・教育政策・インクルーシブ教育・ダイバーシティイン クルージョン研究
准教授	谷口 京子	教育開発計画論Ⅰ・Ⅱ	開発途上国における教育開発計画や教育政策に関する研究
准教授	中矢 礼美	地域カリキュラム開発論	地域に根差したカリキュラムの開発及びそのマネジメントについての 比較研究, 比較教育学
准教授	藤木 大介		学習科学, 認知心理学, 知識構成, 言語心理学
准教授	牧 貴愛	教育人材開発論	アジア諸国における教育人材開発(教師教育), 比較教育学
准教授	三輪 千明	幼児教育・保育開発論Ⅰ・ Ⅱ	途上国における幼児教育の効果に関する研究, 保育分野の国際協力
講師	キム ヌツン	Comparative Studies in Higher Education	比較教育, 国際教育, および開発教育の観点から高等教育を分析する
特任 准教授	丸山 隆央	国際教育協力実践研究	開発途上国における教育開発, 住民参加による教育開発, 教育開発援 助の効果にかかるインパクト評価

注) △印は, 標準修業年限内に退職等が予定される教員であるので, この教員を指導教員として志願する者は, 出願時に
人間社会科学研究科(国際協力学系支援室)に問い合わせること。

注) 募集する指導教員が異動等により変更になることがある。その場合には, 人間社会科学研究科ホームページ
に掲載するので, 相談前にあらかじめホームページを確認すること。

ザンビア特別教育プログラム

広島大学大学院人間社会科学研究科教育科学専攻国際教育開発プログラムは、設置目的である「開発途上国の諸課題の解決に取り組むことができる高度専門職業人の育成」の一環として、独立行政法人 国際協力機構 (JICA) の海外協力隊事業と連携した特別教育プログラムを開設しました。この特別教育プログラムは、学生が、博士課程前期に在籍しながらJICA海外協力隊員 (JOCV) として2年間派遣国で活動し、この間も指導教員並びに本研究科教員の指導を受け、開発協力現場での実践を通じて、開発協力に関わる人材としての資質・能力を高めることを目的とするもので、その概要は以下のとおりです。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響等により、海外派遣が延期又は中止となる可能性があります。

1. 特色

この特別教育プログラムは、上記の目的を達成するために、次のような内容のプログラムを組んでいます。

- (1) JOCVとしてザンビア国に赴き、主として現地の学校において授業実践・教材開発にあたりながら、教育分野における国際協力、開発途上国支援のための活動に従事します。
- (2) 現地でのJOCV活動と並行して、本研究科教員の指導を受け、帰国後に現地で学んだ教育協力の理論と実践の成果を修士論文にまとめることで、修士の学位が取得できます。
- (3) 指導教員並びに本研究科教員の指導に加え、集中講義等の活用により、JOCV参加期間を含め、標準の課程として3年6か月で修士課程を修了できます。

2. 目標とされる人材像

この特別教育プログラムは、次のような人材の養成を目指します。

- (1) 国際機関における教育開発部門のスペシャリスト
- (2) 開発援助機関における教育開発部門のスペシャリスト
- (3) 国際交流、国際協力の専門知識を兼ね備えた教師、教育関係者
- (4) 国や自治体における国際交流企画のスペシャリスト
- (5) 国際開発NGO等で活躍できるスタッフ

3. 教育期間

この特別教育プログラムの標準教育期間は、3年6か月（海外派遣と国内事前訓練を含む。）です。

単位取得については、JOCV参加期間に、プログラム専門科目等の単位が取得可能です。また、残りの必要単位は、JOCV参加前の1 Semesterと帰国後の1 Semesterで取得します。

4. 学生の身分

この特別教育プログラムの学生は、本研究科の在学生としてJOCVに参加します。したがって、現地でJOCV活動に従事しながら、同時に遠隔地在住学生として、指導教員を中心に本研究科教員の指導を受け、指定された単位を取得することができます。

なお、本特別教育プログラムの対象学生は、日本国籍を有し、国際教育開発プログラムを希望する者に限ります。

5. JOCV活動の派遣先および内容

この特別教育プログラムの学生は、ザンビア国内の小学校もしくは中等学校に派遣され、英語もしくは現地語によって理科、もしくは数学科教師として指導することになります。その他、JOCV派遣中の待遇および活動の詳細については、JICA海外協力隊募集要項等を参照してください。

6. 募集条件

(1) 定員

博士課程前期国際教育開発プログラムの学生 若干名

(2) JOCV選考試験

特別教育プログラムを希望する学生は、JOCVの募集選考を受験しなければなりません。なお、JOCVに不採用の場合は、一般学生と同様の扱いとなります。

(3) 期待される受験生

- ア. 国際協力活動と大学院進学の両方を志望する学部卒業生（教員免許取得者が望ましい）。
- イ. 国内での経験を海外で活用しながら学位取得を目指す教員経験者。
- ウ. 国際協力に関心があり、さらに知識、技術を高めて国際協力活動を行おうとする者。
- エ. より効果的な国際協力を求めて再度海外での活動を希望する国際協力実務経験者等。

7. お問い合わせ先

広島大学大学院人間社会科学研究科（国際協力学系支援室）

〒739-8529 東広島市鏡山1-5-1

TEL 082-424-4680

FAX 082-424-6904

電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、以下の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。

（広島市、安芸郡府中町、海田町、熊野町及び坂町の各地域）

特別教育プログラム専用問い合わせメールアドレス

intlscim@hiroshima-u.ac.jp

国際公務員育成特別教育プログラム

国際公務員育成特別教育プログラム

https://www.hiroshima-u.ac.jp/idec/education/special_program/civil

広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム）、大学院先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）では、将来のキャリアとして国際公務員を志望する学生を対象に「国際公務員育成特別教育プログラム」を実施します。

目的

国際機関等の国際協力・開発の現場で、専門的な知識と同時に実務的な経験を備え、主導的役割を担うことのできるリーダーの育成を目的とします。

利点

- ✓ 通常のカリキュラムで修得できる自らの専門性に基づいた知識やスキルに加え、本プログラムの必修科目の履修等により国際公務員として国際協力・開発の業務に携わるために必要な実践的な知識・ノウハウを得ることができます。
- ✓ 主任指導教員に加え、キャリア開発のためのプロフェッショナル・メンターが配置されます。
- ✓ 国際機関をはじめとする国際協力・開発の第一線で活躍する講師を招いた勉強会やセミナーなどに参加することができます。
- ✓ プログラムの修了要件を満たした学生には、修了証が授与されます。

プログラム登録要件

上記学位プログラムの博士課程前期学生であれば、本特別教育プログラムに応募できます。選考は入学後に行い、応募者の中から書類審査及び口述試験によりプログラム登録学生を決定します。詳しい情報は入学後のプログラムオリエンテーションにてご案内します。

テキサス大学オースティン校との日米複数学位（修士号）プログラム

テキサス大学オースティン校との日米複数学位（修士号）プログラム

https://www.hiroshima-u.ac.jp/idec/education/special_program/texas

広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム）、大学院先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）では、米国テキサス大学オースティン校リンドンジョンソン公共政策研究科（LBJ-UT/A）と共同して、日米複数学位（修士号）プログラムを実施します。このプログラムでは、広島大学とLBJ-UT/Aにそれぞれ少なくとも1年半滞在し、最短で3年間で2つの修士号取得が可能となるよう設計されています。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響等により、海外派遣が延期又は中止となる可能性があります。

目的

本プログラムは、貧困対策、地球環境問題、平和構築、感染症など今日の世界が直面する諸課題に対して、深い洞察力を持ちグローバルな視点でその解決に寄与できる人材を育成することを目的とします。

特徴

昨今、国際機関等においては、特定の分野を極めた人材が実務経験を積む過程で多様な問題に対処できるようになり管理職となるという従来のキャリアパスに加え、キャリアの早い段階から複数の分野を融合

的に理解し、実践に活かせるような人材を求めようようになってきています。

また、一般にグローバルな人材マーケットでは修士号以上の学位が求められ、専門家として活躍するためには博士号の取得が求められますが、他方で長い時間と費用をかけて研究指向の強い博士課程後期へ進学することは躊躇するものの、通常の修士号取得だけではなくもう少し専門性を高めてからグローバルな現場で活躍したいと考える人も増えてきています。

本プログラムは、このようなニーズに応えるようなカリキュラム・構成となっています。

利点

- ✓ それぞれの研究科で別々に修士号を目指すよりも短時間で2つの修士号を取得できます。
- ✓ 広島大学、LBJ-UT/A それぞれの特徴を活かし、以下のような知識・経験を得ることができます。
(広島大学) 修士論文作成による研究・分析能力の獲得、文理融合・学際的教育研究、アジア・アフリカでの国際協力の現場経験
(LBJ-UT/A) 長期インターンシップ (2 か月以上) による職業経験、ワシントン DC プログラム¹への参加、活きた英語力の獲得
- ✓ プログラム申請から修了まで、双方の研究科の教員から研究及びキャリア開発の面で一貫して指導を受けることができます。

プログラム登録要件

本プログラムに参加するためには、広島大学及びLBJ-UT/Aそれぞれから入学許可を得る必要があります。双方に正規学生として入学した時点でプログラム登録となります。プログラムへの申請は、広島大学入学時点あるいはそれ以前でも可能です。

例：4月又は10月に広島大学入学、同年12月にLBJ-UT/A受験、翌年8月からLBJ-UT/A入学

なお、国籍は問いませんが、支給される奨学金によってはプログラムに参加できないことがあります。

修了要件

広島大学では30単位及び修士論文、LBJ-UT/AではMGPS専攻の場合は37単位、M.P.Aff専攻の場合は36単位を履修する必要があります。LBJ-UT/Aでの単位数は、複数学位プログラム学生用に、両専攻とも通常コースから12単位減免されています。

授業料等

本プログラムでは、双方の研究科において定められた入学金・授業料等を納める必要があります。

※ただし、広島大学には、ダブルディグリープログラム協定による派遣学生の本学授業料不徴収の制度がありますので、テキサス大学派遣直後の本学授業料3学期分が不徴収となります。

お問い合わせ先

大学院人間社会科学研究所

大学院先進理工系科学研究科

(国際協力学系支援室)

<国際公務員・日米複数学位プログラム担当>

e-mail : koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

国際公務員 日米複数学位



¹夏期休業中に国際機関、米国連邦政府機関などと連携してワシントン DC で実施される講義、フィールドワーク、インターンシップをパッケージにしたプログラム。単位取得が可能。

国際環境リーダー育成特別教育プログラム

背景

近年、地球温暖化、生物多様性の減少、砂漠化の進行、発展途上国の公害問題など、人類の生存基盤にかかわる深刻な地球環境問題に関する広範な知識や解決策に向けた分析力は、国際開発や国際協力のあらゆる分野において必要となる基本的な専門性となりつつあります。こうした専門性を身につける追加的な教育機会を提供するために、広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム）、先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）では、「国際環境リーダー育成特別教育プログラム（GELs プログラム）」を実施します。

目的

GELs プログラムでは、複眼的、国際的視野で国や地域が直面する課題を見出し、戦略的解決策を設計できる環境リーダーの育成を目的とします。

利点

- ✓ 持続可能な社会を構築するために必要な、自らの専門性に基づいた知識やスキルに加え、様々な分野の第一線で活躍する専門家から、学際的知識を得ることができます。
- ✓ 様々な専門や経験を持つ学生と共に学習し、高いコミュニケーションスキルを修得できます。
- ✓ GELs プログラムの学生向けのセミナーやインターンシップ・フィールドワークなどの取り組みがあります。
- ✓ プログラムの修了要件を満たした学生には、修了証が授与されます。

プログラム登録要件

上記学位プログラムの学生であれば、国籍に関わらず本プログラムに登録できます。
登録時期は、4月と10月の年2回となります。

お問い合わせ先

大学院人間社会科学研究科

大学院先進理工系科学研究科

(国際協力学系支援室) (GELs プログラム担当)

e-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

https://www.hiroshima-u.ac.jp/idec/education/special_program/gels

